

校訓 亦透

学校教育目標

ふるさとを愛し 自らを高め未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

学校経営スローガン “よろこび” が生まれる学校づくり ～子どもたちの「わくわく」を大切に、誰一人取り残さない教育の創造～

「じりつ」のよろこび

- ・小さな「できた」「わかった」を積み上げていることの自覚
- ・自分で決めてやりぬくよろこび

「協働」のよろこび

- ・仲間や他人と力を合わせるよろこび
- ・「合わせ」の実感

「貢献」のよろこび

- ・「人によるこんでもらうことをよろこび」とする生き方。

「尊重」のよろこび

- ・自分を大切に
- ・人を大切に思い、人から大切にされていると感じるよろこび

「創造」のよろこび

- ・自らの手で、新たなものを創り出すよろこび
- ・自分らしさを発揮できるよろこび

めざす児童像

知	徳	体
学ぶことのよろこびを知り、自ら学び続ける子	「がんばること」をよしとし、共に生きるよろこびを感じる子	元気な心と体が大切であることがわかり、健康に生きようとする子

めざす教職員像

- ・子どもへの愛情と教育への情熱にあふれた教職員
- ・子どもとともに学び続けようとする教職員
- ・子ども・保護者・地域の思いに寄り添える教職員

” 自分は自分を創っていく責任者 ”

” 志期高遠 功貴切近 ”

挑戦1：「活用と表現力」の育成をめざした授業改善  
「表現するよろこびを感じる八鹿っ子の育成」研究推進

挑戦2： ようか・ふるさととキャリア教育の充実を図る  
ふるさとを愛する心を育てる「ふるさとキャリア教育」のさらなる推進

生きる力を育む教育の推進

「確かな学力」の育成	「豊かな心」の育成	「健やかな体」の育成	特別支援教育の充実	「ふるさと意識」の醸成	生徒指導の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スクール DX ・デジタル技術の活用による「個別最適な学び」と協働的な学びの実現</li> <li>■ 「語り」と「対話」による深い学びの創造</li> <li>■ 学習規律と学習習慣の確立</li> <li>■ 9年間を見据えた自主学習</li> <li>■ 学習タイムの系統的取組</li> <li>■ 読書活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東井先生と草庵先生の教えを活かして心を育てる</li> <li>■ 安心して学び、高め合える学級づくりの推進</li> <li>■ 「考え、議論する道徳」の実現</li> <li>■ 人権尊重の精神、規範意識を高める人権教育の充実</li> <li>■ つながり、うるおい、自治を生み出す児童会活動（特別活動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運動が好きな子を育成する計画な体づくり ・体力の向上 ・運動遊びの日常化 ・児童会・委員会とタイアップ</li> <li>■ 食育、睡眠指導など、心と体の健康を推進する教育の充実</li> <li>■ 地域の防災特性を知り、危機を予見する防災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 誰一人取り残さない教育の推進 ・支援方針の共通理解と共通実践、支援体制の構築</li> <li>・個別の支援計画、個別の指導計画に基づく適切な指導</li> <li>・関係機関と連携し、必要な支援の充実</li> <li>■ 多様なニーズに応える学びの場 ・校内サポートルームの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ようか・ふるさととキャリア教育の推進 ・八鹿ならではの学び ・池田草庵先生と東井先生の教えの効果的活用 ・体験を通じて地域の魅力を認識する機会の充実</li> <li>・SDGsの理念に基づいたふるさと意識の高揚を図る</li> <li>■ 兵庫型「体験教育」の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人間的なふれあいを通し心の絆を深める生徒指導 ・児童の内面理解</li> <li>・児童理解委員会の定期開催</li> <li>・「ほうれん草」の効果的活用</li> <li>■ いじめ・不登校への組織的対応の強化 ・生活指導委員会の定期開催</li> <li>・不登校対策支援プラン</li> <li>・多様な居場所の確保</li> </ul>

「コミュニティ・スクール八鹿」 学びを支える環境の充実

教職員の資質向上	家庭・地域との連携・協働	小中一貫教育と園小連携の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門性と実践的指導力の向上 ・キャリアステージに応じて学び続ける意識を持った教職員の育成</li> <li>■ 講師招聘と「研究授業」を足がかりとした研修の充実</li> <li>■ 安心・安全な環境づくり ・危機を未然に防止するための資質向上と組織としての対応力向上。</li> <li>■ 「子どもたちのため」の業務改善の計画的実施 ・デジタル化による業務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地域とともにある学校づくり」のさらなる充実</li> <li>■ 学校への理解と協力を生み出す情報の提供と計画的発信</li> <li>■ 地域の人材・素材を生かした特色ある教育活動の推進 ・地域とともに活動するクラブ活動 ・教育活動への参画</li> <li>■ PTAとの協働 ・「そうあんの日」「ねるねるウィーク」「自主学習の取組」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「八鹿青溪校区一貫教育」の効果的な展開 ・八鹿青溪中学校区における教育目標及び児童生徒像の共有化 ・9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進</li> <li>■ 「連続性」、「互恵性」のある近隣小学校、こども園・保育所・高校との校種間連携の推進 ・スタートアッププログラムの効果的活用 ・「高校生そうあんの塾」とのタイアップ</li> </ul>

## 校訓

亦透

陽気発する処、金石亦透る

## 学校教育目標

ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

※ 校訓の意味：精神を集中して物事を行えば、どんな困難にも打ち勝つことができる。

### 【本校で大切にしている言葉】

『自分は自分を創っていく責任者』（東井義雄先生） 『志期高遠、功貴切近』（池田草庵先生）（\*夢は大空に、努力は足元に）

### 【学校経営スローガン】

**よろこびが生まれる学校** ～子どもたちの「わくわく」を大切に、誰一人取り残さない教育の創造～

みんながみんなを大事にしあい、いばったり、いばられたり、ばかにしたり、ばかにされたりする関係をなくすことができた教室で、学力は、ほんとうのものが育ちはじめるようである。

「東井義雄一日一言」（米田啓祐・西村徹＝編 致知出版社）

### 八鹿小学校の教育を創造する基本的な態度

- (1) 常に子どもを真ん中に据えた教育を創造する。
- (2) 生きる力を育む根源を「よろこび」であると共通理解し、すべての子どもたちの「わくわく」「好き！」を手放さない教育活動を創造する。そもそも、何のためにするのか、どんな力を子どもたちにつけるのかが出発点である。
- (3) 誰一人取り残さないとは、一人一人が自分の持ち味（良さ）を見つけ、自分を好きになり、生きるよろこびを感じながら生活させることである。
- (4) 持続可能な社会の担い手を育成する SDGs の理念に基づいた「誰一人取り残さない教育」の創造をめざす（全教職員で子どもをみる）。
- (5) 持続可能であるからには、学校も、子どもも、職員も、常に未完成であること、発展途上にあるとの共通理解に基づく。
- (6) 「東井先生の言葉 12 ヶ月」と「草庵先生の教え」の活用による実践（校長講話、各学級指導、児童会活動を通じて発達段階に応じた指導）。
- (7) 自己肯定感は他人により高められる。子どもたち自身が「がんばっている自分」を自覚できる取組を展開し、自己肯定感の高揚をめざす。
- (8) 結果のみならず、目標を目指して努力する過程を「見つけ」「価値づけ」る実践を継続する。
- (9) 保護者・地域との信頼関係を築き、子どもと地域の未来への道を切り拓く「八鹿地域とともにある学校」をめざす。そのためには、情報発信するとともに、コミュニケーションを大切にする。「教育」は「今日行く」。フットワークを軽く、機動力のある職員集団でありたい（見逃し三振ではなく、空振り三振でありたい）。
- (10) 教育の目標は、人格の完成とともに「より良い社会の形成者の育成」であることの共通理解に基づいた”社会に開かれた教育課程“を推進する。（SDGs の理念共有）。